

令和5年度ふれあいの旅を開催しました

令和5年6月27日

社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

令和5年6月21日（水）～6月23日（金）にかけて、ふれあいの旅を開催しました。

参加者は障害当事者11名、介助者4名、仙障協職員2名、名鉄観光添乗員1名、合計18名でした。

6/21（水）7：00に仙台空港に集合し、飛行機にて伊丹空港へ、伊丹空港からバスにて高野山を拝観しました。高野山ではガイドから供養塔の説明を受けながら奥之院弘法大師御廟へ向かいました。石畳が続く起伏のある道でしたが、車いすの介助をしながらゆっくり進み、拝観することができました。

6/22（木）は和歌山城の散策からスタートしました。ガイドの説明や、忍者に扮した和歌山城のスタッフが車いすの介助を行い、城の周りの庭園を散策しました。その後、紀三井寺にバスで移動しケーブルカーに乗り本殿を参拝しました。お昼は黒潮市場にてマグロショーを観覧の後海の幸をふんだんに使用したお膳をいただきました。昼食後移動し、道成寺を拝観、千手観音、庵珍・清姫の物語を絵巻を使い住職より説明をいただきました。

6/23（金）は千畳敷・三段壁をめぐり白浜アドベンチャーワールドに向かいました。アドベンチャーワールドではパンダとイルカのショーを見学しました。アドベンチャーワールドで昼食後、伊丹空港へ移動し、飛行機にて仙台空港へ18：20に到着しました。

梅雨時期ではありましたが、天候にも恵まれ、雨はちらつく程度で3日間の行程を終了することができました。2日目のホテルでは家族風呂や大浴場にて介助を行いながら車いすの方にも温泉を楽しんでいただくことができました。

参加された方々からは、「たのしかった。」「大浴場で温泉に入れるとは思わなかった。」と好評をいただきました。

今後の課題としては、参加者の身体状況や年齢を考えると、介助を要する方多かった印象を受けました。杖歩行の方でも長い距離や時間がかかる場面、アップダウンが多い場所では、持参した車いすや訪れた施設から借りた車いすを使用する場面が多くありました。仙障協職員や、介添で参加された方、添乗員やバスガイドで車いす介助を行いました。が、人手が足りなくなる場面もあり、一人を送った後、介助者が戻り別の方を介助する場面が多々ありました。介助の方法や付き添いの人数について検討が必要と思われます。



6/21 伊丹空港着



6/21 高野山拝観



6/21 高野山昼食



6/21 夕食



6/22 和歌山城散



6/22 紀三井寺拝観



6/22 ホテルでの夕食



6/23 千畳敷散策



6/23 白浜アドベンチャーワールド



6/23 仙台空港